



だいじょうぶ。ともにあるこう。(2010. 4. 6)

# 野村 のむら ようこ 羊子

三鷹市議会議員(会派 にじ色のつばさ) 議会報告no.32

## ■2010年3月議会結果

### ◆野村羊子の一般質問

「市民に信頼されるまちづくりについて」



#### 1) 地球温暖化防止と廃プラスチック処理について

：三鷹市は、プラスチックを分別収集後、容器リサイクル法では処理できない汚れたものなどを、茨城の工場で燃料助剤として焼却している。3年後にふじみ新ごみ処理施設が稼働したら、自前で焼却する計画となっている。

2008年から、23区ではプラスチックを焼却処理することに方針変更し、各焼却場で順次プラスチック焼却を始めたところ、**様々なトラブル**が生じていることが判明。問題を理解しているか、新ごみ焼却場で対処できるのか、を質問。また、雨水貯留槽などで**ダイオキシンが基準値以上**となったという調査が市民の情報公開請求で明らかになった。重金属類・ダイオキシン等、プラスチックを焼却することによって発生する有害物質についての対応も質問。

≫ 答弁 :23区の焼却場では特に問題がないと聞いている。ダイオキシン調査については知らない。自前で焼却すれば、現在サーマルリカバリーにかかる運搬費用、処理費用が不要となる。熱回収をするので地球温暖化対策にも合致している。



野村：23区では炉が高温になり、薬品注入量が増加したり、本来自動で可能な作業の各段階で手動運転となったり、水管や濾布の消耗が激しく交換期間が短くなるなどの様々な事態が生じている。実態を把握して、新ごみ処理施設が対応可能とすべき。また、**稼働前の現時点からの継続的な環境調査**をして、ダイオキシンや重金属被害が生じないように対策を講じるべき。

≫ 答弁 :新ごみ処理施設は、厳しい自主規制値を設け、測定値を公表の予定。公害防止協定について地元と協議する。

解説・・継続測定する項目に、ダイオキシン類は含

まれていない。廃プラ処理の新方式等への検証も含め、今後更に注視が必要。

#### 2) 市民活動支援のあり方について



三鷹市は、「市民協働」「市民参加」をすすめてきた。協働センターは新しい協働のあり方を考え、市民参加と協働によるまちづくりを推進する施設。そこでの**運営に市民・利用者の意見が反映されない**のはなぜか。「利用のきまり」が決定されたプロセスを問う。

≫ 答弁;指定管理者であるNPO法人が、利用者懇談会などで聴いた意見を反映させて決定する。運営協議会や利用者懇談会などで意見を伺い、最終決定は理事会・総会。NPO法人の理事会の傍聴、議事録は公開は法人が判断する。

解説・・NPO法人の理事会はNPOの運営をするもの。協働センターは公の施設として、一般の利用者や市民の声がきちんと反映されるシステムが必要。規制や管理では協働は生まれてこない。情報公開も含めて対話を通した透明性のある運営がなされるか注視していく。



#### 3) 学校での会計報告のあり方について

学校自律経営予算は、校長の申請により予算額が決定する。どのような審査を経て決定されたのか。各校で金額の差はどの程度あるのかを質問。その評価を問う。また、公金ではないお金について、学校徴収金以外の**会計処理**がどのようになっているのか、また式典などでのお祝い金の扱いについて質問。

≫ 答弁 ;公金以外のお金の管理については校長責任。教育委員会は関与しない。しかし帳簿等で処理されている必要がある。お祝い金についてはあり方を検討する。

解説・・文教委員会で自民・政新クラブの議員が、お祝い金を取りやめれば、コミュニティ・スクールを揺るがす事態になるという。なぜ?という関係か、「お祝い金」はなぜ必要なのか理解に苦しむ。

## ◆2010年一般会計予算案他に反対

◎09年度補正予算第6号に、「借金をして貯金する」として反対。自・公・民賛成；共・にじ反対

◎手数料条例改正は、住民票等の交付手数料のコンビニや自動交付機での交付は据置、窓口100円アップ、郵送200円アップで、「住基ネットカード利用促進、弱者いじめ」として反対。自・公・民賛成；共・にじ反対

◎国民健康保険条例改正は、「課税限度額引上げは評価するも、所得150~300万世帯の負担増となる」として反対。均等割額もアップで家族が多い世帯も負担増（但し、国が均等割額増を要求）。自・公・民賛成；共・にじ反対

◎2010年度一般会計予算には、税収減に借金をして不要不急の事業をするものとして反対。

◎国民健康保険事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算にもそれぞれ反対。今議会、市側から上程された議案は34件。うち以上7件に反対、残り17件に賛成。結果は全ての議案が可決。また、子ども政策部ができたことにより常任委員会の所轄を変える条例改正を議員提出議案とし、全会一致で可決。

?

## ■小学校公金不正処理



昨年発覚した小学校での公金不適正処理について、市教育委員会による市民への説明会を傍聴。これは、真相究明の署名を提出した市民が、処分を出たのを機に説明を求めて実現したものの。東京都教育会から出された処分書に基づいた説明を、市教委が行った後、市民から様々な質問が出された。『架空の出勤簿』とは『公文書偽造』なのでは？』『妻への支払いに流用』は、身内に支払った時点で『着服』では？』等々の鋭い指摘が相次ぐ。「発覚後の返金は、振り込まれて校長にそれを返した講師らから市に返金された」との説明に、「講師は2重に返金したことにならないのか？流用先からその講師に返金されたのか？」との疑問の声。しかし、市教委は未確認。それ以外にも調査が不十分だったことが明らかとなった。しかしながら、再調査等の確約はなかった。今後、どう対処するか、市の自浄能力が問われる事態かもしれないと感じている。

## ■東京外環道路

4/9国交省は「高速道路の再検証結果」を公表し、外環については、高速道路会社の事業とした上で、「生活再建及び事業促進の観点から、…経過措置として、緊急性の高い案件について、直轄で用地を買収する等のための予算」を57.9億円措置。「これら用地は…事業着手後、高速会社が買い戻す」とされている。また、日経ビジネスは、首都高速が事業を請け負うと報じている。首都高速は、東京都も出資する会社。市民の試算では、B/Cが0.38程度にしかないだろうという話もあるこの事業。アクアラインのように、赤字となってまた東京都の財政を苦しめるのではないかと心配。

## ■第4次基本計画

2010年度に23もの個別計画を同時に策定し、それと合わせる形で素案を作成。来年春に当選した市長のマニフェストを反映させつつ、最終決定する予定。個別計画は既存の審議会等に割り振り、公募市民は無作為抽出された中からの応募となる予定。思いのある市民の声はどこへ？

■にじ色のつばさ議会報告2010春号を全戸配布。

## ◆議員提案意見書

にじ提案の意見書「親のいない子どもたちへの『子ども手当』の支給等求める意見書」は全会一致、全ての子どもたちへの『『高校無償化』に関する意見書』は政新クラブ＝自民党のみ反対の賛成多数で可決。共産党との共同提案とした「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める決議」は賛成少数で否決。

このほか、他会派が出した意見書15件中4件に討論。「幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書」「子ども読書を推進するために予算確保を求める意見書」「児童虐待を防止するための親権制限を求める意見書」に賛成討論、いずれも全会一致で可決。「さらなる総合経済対策の策定を求める意見書」に反対討論、残念ながら賛成多数で可決。

議員提案の意見書・決議20件中18件に賛成し、2件に反対。結果は18件が可決され、2件が否決。

## ■文教委員会

「小学校長公金不正処理」で処分が発令された件を質疑。新聞報道も含めて具体的な内容を質問。お金をあれこれ融通することが校長の才覚とされるような体質そのものが問題なのではないだろうか。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会No.32

〒181-0013 三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net

Url : http://www.nomura-yoko.net

\*野村羊子は、議会では会派「にじ色のつばさ」、日常は市民グループ「いっしょの会」とともに活動しています。

市政へのご意見、ご要望、そしてささいな疑問等、なんでもお伺いしています。いっしょに考えていきましょう。

いっしょの会 年会費 1000円

郵便振替口座 00160-2-335606